

訂正前

2 | 脱炭素（2）

2040年までのエネルギー政策(PEP2040)

- 「2040年までのエネルギー政策（PEP2040）」は、ポーランドにおいてエネルギー転換のための枠組みを設定する戦略的文書であり、EUのエネルギーおよび気候目標に合致するための解決策を提示している。

PEP2040の主な目標

- 再生可能エネルギー
最終エネルギー消費全体に占める再生可能エネルギーの割合を少なくとも23%まで引き上げる。
 - 電源構成の少なくとも32%
 - 暖房の28%
 - 運輸の14%
- 脱石炭
 - 2030年までに電源に占める割合を56%まで引き下げる。
 - 天然ガスは移行期の燃料と位置づけ（2049年までに脱石炭を完遂）
- 洋上風力の発電容量
 - 2030年 5.9 GW
 - 2040年 18 GW
- 太陽光の発電容量
 - 2030年 27 GW
 - 2040年 45 GW
- 原子力発電
 - 1~1.6GWの容量となる1号機を2023年に稼働
 - 以後2~3年ごとに計6基を稼働させ、2043年には合計7.8GWを確保

訂正後

2 | 脱炭素（2）

2040年までのエネルギー政策(PEP2040)

- 「2040年までのエネルギー政策（PEP2040）」は、ポーランドにおいてエネルギー転換のための枠組みを設定する戦略的文書であり、EUのエネルギーおよび気候目標に合致するための解決策を提示している。

PEP2040の主な目標

- 再生可能エネルギー
最終エネルギー消費全体に占める再生可能エネルギーの割合を少なくとも23%まで引き上げる。
 - 電源構成の少なくとも32%
 - 暖房の28%
 - 運輸の14%
- 脱石炭
 - 2030年までに電源に占める割合を56%まで引き下げる。
 - 天然ガスは移行期の燃料と位置づけ（2049年までに脱石炭を完遂）
- 洋上風力の発電容量
 - 2030年 5.9 GW
 - 2040年 18 GW
- 太陽光の発電容量
 - 2030年 27 GW
 - 2040年 45 GW
- 原子力発電
 - 1~1.6GWの容量となる1号機を2033年に稼働
 - 以後2~3年ごとに計6基を稼働させ、2043年には合計7.8GWを確保